

誰でも安心して暮らせる 優しくて活力のあるまち 葛原

小地域福祉活動第二次計画

令和6（2024）年度～令和10（2028）年度



ふれあいネットワーク
葛原校区社会福祉協議会

葛原校区 小地域福祉活動第二次計画 策定について

葛原校区に住む皆さん、いつも校区社協の福祉活動に、ご協力いただき有難うございます。この度、葛原校区社会福祉協議会におきましては、小地域福祉活動の第2次計画として「誰もが安心して暮らせる優しくて活力のあるまち葛原」を基本理念に校区の皆さんのご理解、ご協力をいただきながら福祉活動を進めていきたいと思っています。防災、防火、防犯活動、買い物弱者への対応、こどもたちや高齢者、一人暮らしの方への思いやり、ふれあい、見守りなどの支援、また地域交流や世代交流による絆づくりなど、今やらねばならない身近な課題だと思えます。2024年度から2028年度までの5年間、校区に住む住民の皆さんや、様々な組織が力を合わせ、熱意をもって問題解決に向けて取り組んで行けば、必ずクリアできると思います。5年後の、葛原のまちの未来のためにも、今できる事をみんなで考え福祉活動を展開して行きましょう。ご協力よろしく、お願いします。

葛原校区社会福祉協議会
会長 廣松 謙治



葛原校区について

人口	14,281人	世帯数	7,112世帯
14歳以下	1,939人	高齢化率	27.5%
15~64歳	8,407人	一人暮らし高齢者	889世帯
65~74歳	1,798人	福祉協力員	64人
75歳以上	2,136人	民生児童委員	18人

令和5年9月現在

（一人暮らし高齢者は住民基本台帳を参照しています。）

葛原校区って

葛原校区は、北部九州の主要道の一つである中津街道が通る東西4.5kmで南北1.5kmの足立山・高蔵山稜線の麓に沿う丘陵地帯です。

夏にはホタルの飛び交う山寺川、奈良時代から和氣清麻呂の伝承を伝える葛原八幡神社など、小倉と大分を結ぶ主要道には多くの自然と歴史的資源を残しています。地域の有志の方々が美しい自然を保護維持し、歴史的な資源を守り伝える活動を続け、次世代の人材発掘・育成につながっています。

基本理念

誰でもが安心して暮らせる優しくて活力のあるまち 葛原

葛原校区の住民が「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を実現するために、4つの基本目標を柱として、福祉活動に取り組みます

基本目標1

災害危機管理に努め安全安心で美しく、みんなが住みたいと思ふまちづくり

実施項目

- ◎ **安全安心まちづくりのための自主活動**
 - ・みんな de Bousai 計画の Revise
 - ・住民主体の避難所開設と運営継続
 - ・葛原校区緊急体制&連絡網の Revise
- 町内ごとの自主防災活動の徹底
 - ・町内ごとの緊急連絡体制の Revise
- 安全安心のパトロールの徹底
 - ・子どもたちの見守り強化
- **地域諸団体との連携（小・中学校）**
 - ・げんこつクラブ、スピードワゴン、団塊サロン葛原との連携強化

基本目標2

買い物弱者への対応など、地域の暮らしを支え合うまちづくり

実施項目

- ◎ **わいわい市場の拡充を図り、買い物弱者を支援（基本的に1回/月）**
 - ・わいわい市場の複合開催として**春季秋季の校区祭りで収穫祭を実施継続**
 - ・取り扱い商品の安定確保と充実
 - ・**地産地消栽培者の拡大と連携運営**
- 買い物弱者へあらゆる対策の強化
 - ・**葛原あいのりタクシー令和5年開業**
 - ・**あいのりタクシー運営委員会へ参画**（運営継続条件の確保と利用者拡大）

基本目標3

高齢者や一人暮らしの人とのふれあいの輪が広がる、思いやりのある優しいまちづくり

実施項目

- ◎ **葛原市民センターを起点にした多世代交流と高齢者・独居者への活動強化**
 - ・文化クラブ協議会への積極的参画
 - ・**気軽ちやサロンによる生涯学習活動**
- 高齢者、独居者見守りと地域交流
 - ・**早朝ラジオ体操による健康づくりと交流**
 - ・ふれあい昼食会や食推メンバーによる**食生活のサポート活動**
- 継続的な地域コミュニケーションの浸透
 - ・**元気はつらつ会による地域サポート**（健康推進部会、子供部会、運動部会）

基本目標4

地域交流、世代交流の絆を深め、福祉活動を推進する住み良い楽しいまちづくり

実施項目

- ◎ **次世代の地域福祉活動者の育成と世代交流活動の強化と実施**
 - ・**ウェルクラブによる学童育成活動強化**
 - ・**葛原敬老祝賀会等による高齢者支援**
 - ・多世代交流、地域交流のための行事開催と参加の促進（スポーツ、まつり等）
- 広報紙、ホームページを活用したPR活動
- 学校の取り組みと連携したPTA関係の若い人たちを巻き込んだ交流の場の拡大
 - ・九州栄養福祉大学との連携と福祉活動
 - ・げんこつクラブ、スピードワゴン等の**学校関係者との交流で社会福祉活動担い手育成**

【地域の諸団体・機関と連携】 まちづくり協議会・自治連合会・民生委員児童委員協議会・葛原小学校・PTA・保育園・安全安心パトロール隊・老人会・市民センター・警察・行政機関・市、区社会福祉協議会・地域生産者・販売業者・企業

■自然災害への危機管理

- ・避難指示（土砂災害、池・河川氾濫）

□居住地管理(空家、空地、樹木雑草はみ出し)

- 小学生、中学生の住民通学時マナー
 - ・通学時間帯に車のスピード超過
 - ・小学生の下校時マナー（元気が良い）
- ゴミ出しマナー（カラス被害問題）
 - ・ゴミネットの掛け方、ゴミ捨てルール
- 野良猫、野良犬の餌遣り&糞害問題

■買い物弱者からの問題提起(交通手段)

- ・起伏の多い地区で、買い物に行くのに苦労する
- ・公共バスの撤退により、高齢者は大変不便になった
- ・曾根方面のバスの本数が少ない
- ・運転するのが難しくなり、今後の買い物が不安
- ・わいわい市場までも遠い
- ・わいわい市場開催を広めてほしい

□買い物弱者対策の課題(葛原校区あいのりタクシー)

- ・あいのりタクシーの運行範囲が狭い

町内会長・福祉協力員・民生児童委員等からの問題提起

■居住者関係の希薄化(近所付き合いが減少)

- ・少子高齢化（市民センタークラブの減少）
- ・高齢者、独居者増加（安否が心配）
- ・若者の独居者も増加（近所付き合いが不安）
- ・気軽に集まる場所が無い（活動低迷）
- ・空家の管理と利用（サロンとして活用検討）

□町内会加入世帯の減少、無関心居住者増加による自治会活動の低迷。

- ・魅力的な葛原まちづくりへ大きな課題

■地域社会福祉活動の担い手不足

- ・少子高齢化（高齢のため活動できない）
- ・役員や福祉協力員のなり手がいない
- ・関係の希薄化（組のまとまりが弱い、集合住宅住民との溝がある）

□町内会活動の課題（町内行事が少ない）

- ・校区の各種イベントへの協力者減少
- ・役員のなり手不足（役割の高齢化）
- ・若者が町内会に加入しない（存続の危機）